

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスLEIF横浜南		公表日		2026年 3月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		職員の立ち位置
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		声かけや配置でもっと良くなる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、	2	5		バリアフリー化には課題がある バリアフリー化に対してはまだまだ不十分なところもある 対象となるご利用者はいないが、今後必要に応じて、整備していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空	7	0	日々の清掃と児童も参加しての清掃を実施している。 屋内と屋外の活動スペースを提供している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	全職員が振り返りMT資料に自身の意見を記載できるようにされている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に	7	0	総括の時間を設けている 定期的にアンケート調査を実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的に施設長との面談を実施	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		機会無し
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保され	7	0	定期的に研修を実施し、レポートを提出している。 法人内での研修体制は構築されており、定期的な研修が行われている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	ホームページにて公表されている 月間スケジュールの公表。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援	7	0	児童発達支援管理責任者主導の元、それぞれのエピソードを話し合う場を定期的に設けている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行	7	0	送迎表に必要な情報を集約している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	立案したプログラムの共有時間を設けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	特別プログラムを祝日に設け、内容は多岐にわたる。 月度の目標設定を行っている。 イベント企画にも力を入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成	7	0	集団が苦手な児童には無理強いせず徐々に参加出来るよう段階的支援の実施。 一人ひとりに寄り添った支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し	7	0	毎日朝礼を実施している。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等	7	0	前日の内容を翌日の朝礼時に共有。随時コミュニケーションを取ろうと心掛けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	サービス提供実績記録表に記入。基盤ソフトを活用して、電子化に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか	6	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援	5	2		集団行動をメインに行っている為、自己決定の機会は薄め。きちんとした計画がかかれていない。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解	7	0	現場での具体的なエピソードを共有し共通理解を促進。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支	6	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎	6	1	送迎時必要な情報の共有を実施。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と	4	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5		前例がないが移行する際には情報を提供する 事案が発生していない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		連携は取れていない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	特別プログラムを実施している。サッカーのプログラムにおいて、地域のクラブとの交流試合等を行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	毎回参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	サービス提供記録に出来たことをポジティブに記載している。送迎時等の時間を有効に利用して、コミュニケーションを取っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		今後、情報提供を行ってきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	契約時だけでなく、送迎時の立ち話や電話でこまめにニーズの変化を確認。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	修正案をその場で提示し、納得を得た上での電子署名や記名。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を	4	3	保護者、兄弟参加可能な特別プログラムを実施。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0			

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		実施なし
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し	6	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	情報の共有を実施。 初回アセスメント時に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	情報の共有を実施。 初回アセスメント時に確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	日々、職員間で取り上げ、共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前	6	1		